

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成29年2月13日（月）

開催時間：10時00分～12時25分

開催場所：全 員 協 議 会 室

〔出席議員〕

西田議長、平石副議長

足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員

上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員

道下議員、田畑議員、澁谷議員、西村議員、江角議員、牛尾博美議員、原田議員

牛尾昭議員

〔執行部出席〕

市 長、副市長、金城自治区長、~~旭自治区長~~、弥栄自治区長、三隅自治区長

教育長、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長

産業経済部長、産業経済部参事、都市建設部長、~~金城支所長~~、旭支所長、弥栄支所長

三隅支所長、~~教育部長~~、消防長、上下水道部長、（広域行政組合事務局長）

〔事務局出席〕 局長、次長、議事係長 （報道）山陰中央新報社、中国新聞

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 「（仮称）浜田歴史資料館」構想について
- (2) 米軍機の騒音等に係る意見交換の実施について
- (3) 瀬戸ヶ島埋立地における水産事業実行可能性調査の中間報告について
- (4) リハビリテーションカレッジ島根あり方検討委員会の設置について
- (5) 口座振替依頼書の様式変更について
- (6) 浜田市市街地（商店街）の空地・空家敷地の調べについて
- (7) 平成28年度「浜田市税だより」の発行について
- (8) 今後の産婦人科の体制について
- (9) 浜田市子育て支援センターの移転新築について
- (10) ふるさと寄附について
- (11) 旧和田小学校校庭法面崩壊の対応について
- (12) 市街地下水道整備計画について
- (13) その他

（配布物）

- ・浜田市定住自立圏共生ビジョンの変更について（中間報告）
- ・チラシ（仮称）浜田歴史資料館整備に係る基本方針（案）のパブリックコメントの実施について
- ・市税等コールセンター（電話催告業務）の夜間催告の実施について
- ・平成28年度「徴収業務研修会」の開催について
- ・臨時福祉給付金（経済対策分）について
- ・平成29年度医療保険制度（保険料関係）の改正概要について

- ・平成28年度浜田市消費生活相談室相談実績（12月末）
- ・企業立地優遇制度の一部改正について
- ・平成28年度 萩・石見空港利用実績【東京線】について
- ・地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）について
- ・漁業別水揚げについて
- ・浜田市緑の基本計画（案）のパブリックコメントの実施について
- ・平成28年度卒業（園）式及び平成29年度入学（園）式日程
- ・相生水源地跡地の県警への売却について

2 その他

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

[10 時 00分 開議]

西田議長 | ただいまから全員協議会を開催する。本日は旭自治区長、金城支所長、教育部長から欠席の報告を受けている。

1 執行部報告事項

(1) 「(仮称) 浜田歴史資料館」構想について

西田議長 | この件については報告事項の最後にまわさせていただきたい。

(2) 米軍機の騒音等に係る意見交換の実施について

西田議長 | この件について、総務部長。
総務部長 | (以下、資料 (2) をもとに説明)
西田議長 | 議員から質問は。西村議員。
西村議員 | 映像を具体的にご覧になったと説明があったが、3ヶ所それぞれの日時と、誰が撮られたのか。それから意見交換後の対応ということで、地元行事を予め報告して米軍に飛行訓練を控えるよう要請するとあるが、それを無視された場合は国として抗議なり調査なりをやる構えがあるのか。
総務部長 | 1点目の質問については手元に資料がないため後ほど報告させていただく。
2点目についても、具体的に何かがあった時の保障までの詰めはしていないが、こういう取組によって行事の際の訓練抑止力になっていくと良いとの思いで取り組みたい。実際に起こった時の対応についてはまた、県と協議したい。
西田議長 | 他に。
| (「なし」という声あり)
西田議長 | ないようなので、この件については終了する。

(3) 瀬戸ヶ島埋立地における水産事業実行可能性調査の中間報告について

(4) リハビリテーションカレッジ島根あり方検討委員会の設置について

西田議長 | この2件について、地域政策部長。
地域政策部長 | (以下、資料 (3) (4) をもとに説明)
西田議長 | (3)について議員から質問は。森谷議員。
森谷議員 | 色々会社を紹介してもらったがその紹介の中で、こういう商品の、売上全体に対する占有率はどのくらいか。スロット分析と言われる中での各会社の位置づけはどのようなものか。またこれを民間企業がやると言われたので、市の立ち位置を明確にしてもらいたい。それからハサップの意味を教えてもらいたい。
地域政策部長 | まず6事業体を紹介させていただいている。各事業体で今回ご紹介した養殖等蓄養等でやっておられる加工の、事業体全体の売上の何割かということで、特に6事業体それぞれいくらを占めているかまでは報告を受けていない。特に6番目の食縁はかなりのウェイトでこの事業中心にやっておられると聞いているが、他の事業体については聞いていない。各事業体に関わる詳細は我々も報告を受けていないので、お尋ねのことは自然産業研究所に報告して調査をお願いしたい。

市の立ち位置だが、市が関わって3セクを作るということは考えていない。こういう優良事例を紹介しながら色んな出資者を募る支援をさせていただきながら、側面的なサポート。あと例えば企業立地に準じた取り扱いが出来るならそういった補助金の支援。あとは占有する土地が県有地もしくは市有地になるので、その辺の円滑な土地確保。そういうことを市がサポートしていきたいと思っているので、市が経営に加わる発想は持っていない。

ハサップについては食品安全基準で、例えばアメリカにはアメリカの、ヨーロッパにはヨーロッパの基準がそれぞれあるそうで、それをクリアしないと生魚等の輸出が出来ないということで、それぞれが目的とされるところの安全基準を取られて輸出等されるとのことで、先ほど言ったように特にアメリカのハサップを取っておられる所が多いらしい。基準がない国もあるそうだが、そういうことをやっておられるということでご紹介させていただいた。

ハサップの綴りはCCPで良いのか。

少し確認をさせてもらう。HACCPが正しい。

危機管理のことか。

そうだ。

それは高度衛生化と関係があるような危機管理なのか。

私の指名を待って発言するように。

砂川さんが答えるからいけないんだ。

すみません。

一番目の売上占有率は分かった。スロットと2番目に言ったが、あれは中村さんが昔、人材育成セミナー等の共通用語だと思っていたが、強みとか弱みとか攻めるとか色々ある。その位置では各社どのように位置づけているのか。

ブリが販路として非常に有効だとのことだが、通常のように切って冷凍等に加工して売るだけでは差別化が出来ない。ご紹介しているように各事業体が色々な保存方法、それぞれの位置づけがあると思う。

私が先ほど説明した。守る育てる攻める、これのどの位置になっているのかと。私は向こうが許してくれる限り、この会社と直接話をしている。すると、わけのわからぬ新参加者が出て上手くいくようなものではないと。北欧の鮭等はすごい品質管理で200万トンくらいの量になったと言っておられた。コンサルの言うことを鵜呑みにして言われるけど、私が直接接触した感じでは、どこの市町村か知らないが上手くいくかよ、みたいなそんな印象を受ける。市の立ち位置にしたら結局、紹介するのに色々調べてあげる、あとは補助金を付けるかもしれないということ。それも相手は知っていた。補助金どうせ出すんだろうけど、それは点滴みたいなものかと私が尋ねたら、いやモルヒネだと。そのうち強いモルヒネを打たねば死んでしまうと。業者が答えてくれるようなことを紹介してよろしいかなと思うのだが、もうちょっと責任を持たれて調査するべきではないか。

ご意見感謝。その辺もコンサル会社と充分調整して調査する。

他に。澁谷議員。

現段階で瀬戸ヶ島埋立地における水産事業となっているが、県所有の

森谷議員
地域政策部長
森谷議員
地域政策部長
森谷議員
西田議長
森谷議員
地域政策部長
森谷議員

地域政策部長

森谷議員

地域政策部長
西田議長
澁谷議員

地域政策部長	土地と浜田市の土地がある。イメージ的には浜田市部分の土地に対して3分の1の面積でやっていこうという考えなのか。 他の事例を見ても、蓄養した魚を水揚げして加工することなので、なるべく海に近い方が工場としては稼働しやすいとのことで、そうすると県有地になる。島根県とも協議しており、こういう説明なり自然産業研究所と県も一緒になって調査の話をさせていただいており、基本的には県有地を想定して話を進めている。
澁谷議員	くれぐれも県との連携を密にさせていただくようお願いする。
西田議長	道下議員。
道下議員	この計画、地元水産業者の賛否はどうなっているか。
地域政策部長	昨年度やった可能性調査の時もそうだったが、水産加工事業者の方や魚商組合、J F、浜田港振興会等にヒアリング等させてもらってご意見をいただいている。加工事業者でこういう所に出資となると厳しい現状の中では難しいと仰る方もいるし、興味をお示しいただいている所もある。魚商組合や先般はJ Fの会議にも出席させていただいて、実際に漁業権をお持ちの漁業者の方との意見交換をしながら説明して少しずつご理解いただく状況である。
道下議員	あまり良い回答を私は貰っていない。そもそも瀬戸ケ島ではなく水産加工団地でやれば良いことじゃないのか。
地域政策部長	水産加工団地、原井の加工団地も当然、当初は想定したのだが、先ほど言ったように蓄養した魚をすぐ揚げられることが強みになるので原井の加工団地だとそれが出来ないということと、今原井にある排水浄化センターも例えばこういう工場が出来た時に排水処理が出来るかと言うと、現在の可能量からすると受け入れが難しいとのことで、原井に新たに専用排水処理施設を作らねばならないという条件で、先ほど言ったように蓄養からすぐ魚を揚げるとなると瀬戸ケ島が非常に有利だということで議論を進めている。
道下議員	瀬戸ケ島になると汚水処理場をまた新規にやらなければならない。それよりは原井の処理場を拡張の方がベターではないかと思って。運搬船はどのように考えているのか。
地域政策部長	まず処理場の話だが、排水処理は市が整備する考えは持っていない。原井であれば既存のものがあるので活用していただけることを検討したが、今の対応量では難しいということで、事業者自らが工事をやる際に作っていただくということで、投資額の中で検討していただくことになると思う。瀬戸ケ島でやっても浜田市が排水処理施設を別途作ることは考えていない。事業者が自ら事業経営の中で対応していただくことになっている。 運搬船については、例えば運搬船を持っておられる業者もしくは養殖をしていない所と事業者が契約されて独自で配船されることになると思うので、市が直接関わることは考えていない。実際に尾鷲や今治でやられている分も同様に九州の養殖場から活魚船を手配して運搬しておられるので、そういうことは可能だと伺っている。
西田議長	他に。笹田議員。
笹田議員	一般質問でやる予定なので浅くやっておきたい。そもそもあそこで加工するにあたり、1週間程度蓄養という話だったが蓄養する意味があるん

だろうか。元々蓄養というのは小さい魚を買ってきて餌を与えて大きくして、それを出荷して利益を得るもの。養殖についても色々勉強しているが、生湯の養殖業者さんと色々話をさせていただいたところ、やはりリスクの方が高いのではと言われていた。特に冬、今年なんか特に時化が多くて。向こうは瀬戸内海や九州なので船は行けるが、日本海は大時化だとフェリーが停まるくらいなので運搬船が入ってこない可能性が充分考えられる。今の考えだとブリだという話だが、ブリだと尚更冬の魚なので、魚が入ってこない恐れも出てくるのでは。それだったら冷凍施設を整備していった陸送で運んだ方がリスクが少ないし、それなら業者さんも手を挙げやすいのではというご意見もあった。

この説明書にもあったが夏場は養殖に適していないということで、どうするんだとうかがった時に、エアレーションも考えていると回答があった。海の中でエアレーションするなど馬鹿げている。コストがかかり過ぎる。道下さんが言われたように、会社が増えるのはプラスだがリスクが多いと手を挙げにくいと思うので、その辺を再度しっかり話をされたらどうか。

地域政策部長

今あったように、海の状況によって船が入れない等色んな事があるので、1週間や10日分を纏めて確保して加工工場が止まらないようにするための蓄養施設という意味で、運搬船で運びたい考えでいる。

陸送のご提案等も今いただいた。これから研究会等も立ち上げ、地元のことを承知しておられる方と一緒に議論して課題を解決していかなければいけない。今は他所でやっておられる事例をご紹介しながら、浜田にあったやり方ができるかどうかを詰めていかないといけないと思っている。

笹田議員

最後にするが、浜田の海、日本海はやはり特殊。何故今まで養殖が出来なかったかをしっかり考えてご計画を立てていただかないと。絵に描いた餅にならないように、折角お金かけてやっているのだから、なるべく業者が見つかってやれることがベストだが、今の計画のままだと私ははっきり言って難しいと思う。海を知っておられる方によくご意見を聞かれて、無駄な金にならないようにお願いしたい。

地域政策部長

笹田議員も海のことを一番よくご存知な方の1人なので、また意見も伺いながら。先ほど言ったようにJFさんとも協議させていただいている。地元の海を熟知しておられる方と協議しながら進めさせていただく。

西田議長

あとは一般質問でお願いする。西村議員。

西村議員

21と22ページで、2番の宇和島と6番の食縁は、それぞれ28年度立ち上げと28年度出荷開始ということで、売上等は記載がない生まれたての企業だが、それぞれ28年度に出荷実績があるのか。今2月なのでその辺が掴めていれば教えていただきたい。

地域政策部長

6番の株式会社食縁さんについては平成27年12月頃から稼働しておられる。お伺いする所によると海外輸出を中心に考えておられるとのことで、HACCP手続きを取られたのが昨年秋頃、海外輸出はこれから本格的にやるとのこと。ただ、国内大手量販店に、これまでにないような保存処理、臭いがしない餌等でやっておられ、国内販売もしておられると伺っている。しかし実績の数字までは伺っていないので、また確認させていただく。

西田議長	2番の宇和島海道さんについては昨年12月に工場が設置稼働しており、まだ出荷実績は伺っていない。 他に。 (「なし」という声あり)
西田議長 森谷議員	では(4)についての質問は。森谷議員。 これ浜田市のお金がかなり流れている。簡単に言うと赤字補填のような形で。その中で民間の経営に関することだから非公開でということなのだが、民間経営に関することなら補助金も与えなければ良い。非公開は非公開で良いにしても、守秘義務を課して参加する、担当職員や議員とか。そうしないとチェックも議論のベースにもならない。よく牛尾昭議員が二元代表制と言われる。二元代表制とは議会から言えばチェック機能。チェック機能を可能にするためには情報公開がなくてはならないので、守秘義務を課してくれた上で傍聴できるように是非考えていただいた方が前に進みやすいと思う。
地域政策部長	このことについては学校との協議事項である。どういう話をしたかはご報告させていただくが、会議自体は非公開で決定している。
森谷議員	再決定で傍聴できるように検討して欲しい。そうしないと折角の大きなお金をあげてこちらがテコ入れするのに、情報は駄目だというのはおかしい。
地域政策部長	私から大丈夫だとは言えないが、一番大事なものはしっかり検討していただいて方向性を出すことだと思っている。ご意見があったことはお伝えする。
西田議長 足立議員	他に。足立議員。 今の森谷議員の意見に近いのだが、まず浜田市がこのメンバーに入らなかった理由と根拠を伺いたい。
地域政策部長	今回の検討にあたっては、これまでも議会でも色んなご指摘をいただいたり市からも学校へ色んな投げかけをさせていただいているが、なかなか議論が進まず。市は経営の当事者ではないが補助金を出す形で関わっているということで、当事者である学校も市も委員には関わらず第三者の目でしっかり議論していただきたいということで委員に入っていない。
足立議員	それではこの検討委員会で一定の方向性や結果が答申として出たとして、それは学校側が従うべきなのか、それともあくまで学校側の自主判断になってしまうのか。
地域政策部長	今回の検討会設置については、冒頭に申したように学校の理事長名から浜田市長名で委嘱している。どこまで拘束されるかは言いにくい部分があるが、学校がこういうことをやるということを了解の上で、理事会の決定も受けてやっておられるので、報告された物は尊重されるものと思っている。
西田議長 牛尾昭議員	他に。牛尾昭議員。 先ほど当事者を入れないというお話があった。当事者が入らない中でリハカレの在り方検討会から一定の答申が出て、その答申を尊重するというのがよく分からない。リハカレの将来あるべき姿の答申が出たとする、なるべく尊重するという。当事者じゃない所がそういった結論を出されて、お金を出している法人や支援をしている浜田市が……答申を尊

	重するにしてもとんでもない答申が出た時に、万が一将来性がないから終わりだというような話が出た時などどうするのかも含めて、本来お金を出して背負っている所が事務局で、どういう答申が出るか分からない所にリハカレの将来を委ねるという考え方がよく分からない。僕だけ分からないのかもしれないが。そんなことで良いのかと。存続という前提条件の中で在り方検討会をしていただくとか、そういうことがないとメンバーの方も責任が発生するのではないかと。私が心配するだけかもしれないが。その辺についてはどうなのか。
地域政策部長	説明を漏らしていたが、基本的には存続を前提に議論していただくようお願いしている。浜田市にとってこの学校は将来にも必要なので、安定的な経営で存続できることを前提に是非ご議論いただきたいということで。市なり学校なりが入っていないのは、それぞれの思いがあってそれが前面に出ると第三者の方の色々な意見が最終的に判断しにくい部分もあるのではということで。当然事務局に学校、市が関わっているし、存続は当然目的の中に置いているので、そういうことで議論していただくよう話している。
西田議長	他に。
	(「なし」という声あり)
西田議長	ないようなので、この件については終了する。

(5) 口座振替依頼書の様式変更について

(6) 浜田市市街地（商店街）の空地・空家敷地の調べについて

(7) 平成28年度「浜田市税だより」の発行について

西田議長	以上3件について、財務部長。
財務部長	(以下、資料 (5) (6) (7) をもとに説明)
西田議長	(5)について議員から質問は。
	(「なし」という声あり)
西田議長	(6)について議員から質問は。森谷議員。
森谷議員	2ページ(3)だが、累積面積、空き地や駐車場面積は各年度に存在する面積か。去年空いていた所は除いて増えた所だけという意味ではないか。
財務部長	はい。
森谷議員	はい。そう見ていくと平成25年度が駐車場面積も空き地面積もがばっと増えて、かつ26年には駐車場面積が一気に減って、空き地面積はその2年後の27年にもばっと増えている。これは大きな目立つことがあったのではないかと思うのだが、どんなことがあってこうなったのか。
財務部長	ご指摘のとおりだが詳細についてどういったものがあったかは、正直把握できていない。ただ、一定の規模で空地なり解体すると、温度差が生じてまた少なくなってもた増える、そういう波があったのではないかと考えている。
森谷議員	それはそうなのだが、24年から25年にかけて空地で言うと3倍に増えている。そして24年を基準とすると27年には4倍以上になっている。その翌年にはその4倍になったものが半分以下になっている。これは何か考えるべきものがあると思う。今日急には無理かもしれないが、後で情報として提供していただければ何かの参考に必ずなると思うのでお願いします。
財務部長	1つは相続税対策ということはもう念頭に入れている。それから金融政

策でこういった方法でやる。それからもう1つは駐車場でよく言うが、赤字でも満車になっていなくてもそこに固定資産税が経費で落ちるということがあるので、そういった政策を使う方も増えているのではないかと見ている。

西田議長

他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

(7)について議員から質問は。

(「なし」という声あり)

西田議長

ないようなので、この件については終了する。

(8) 今後の産婦人科の体制について

(9) 浜田市子育て支援センターの移転新築について

西田議長

この件について、健康福祉部長。

健康福祉部長

(以下、資料 (8) (9) をもとに説明)

西田議長

(8)について議員から質問は。森谷議員。

森谷議員

今看護師不足が問題になっている。看護師については有効求人倍率が4倍ほどのはず。ここにも何人かいらっしゃってお辞めになると思うが、そのまま休職等されるのはもったいない。きちんと市内の病院に就職される流れになっているのか。

健康福祉部長

先ほど閉院の方針だとお話したが、担当課長が先週お礼を申し上げに行った。その時にそうした話までは伺っていない。他にも最近閉院される所があり、看護師の情報が我々にも少しずつ漏れ聞こえてくるが、中山さんの件については直接はうかがっていない。

森谷議員

片一方の部署では人口を増やしたり人を県外市外から入れてきたりということをやりながら、折角もったいないことがあっても感知しないということでは。情報の共有をもうちょっとされた方が良いと思う。折角の看護師が家に入ったり県外へ出ていったりされないようケアするべきだと思う。

健康福祉部長

市も診療所を持っているので、色んな情報は配慮して把握なり取り組みをしていきたいと思う。

西田議長

他に。岡野議員。

岡野議員

たまたま今日、うちの姪が熱を出して小児科に行こうとしたら、その小児科が閉院するとのことで遠方の小児科に行かねばならないということで会社を休んだ。そのように、この地域でも閉院される医院が増えてきていて、医療体制がかなり脆弱になって市民が困る場合が多い。そういった環境の中、浜田市も積極的に医療体制の充実を図っていただきたいと思う。現状把握をしているか。中山さんだけでなくこれからかなり推定できるのではと思うが。

健康福祉部長

仰るとおり。皆さんに馴染みのある開業の先生方が大体70代後半に差しかかっておられ、ご心配のとおりだと思う。今回産婦人科の先生がお亡くなりになった件についても、保健所等とも相談したり当事者の病院にも行って話をした。私は最初、すぐに医師派遣等をしてもらわないといけないのかと思ったのだが、産婦人科については非常に先生方の結束が強く、江木先生も頑張ると言ってもらったので当面の危機はクリアしたと思っているが、ただそれにしても近未来的には大学の方に更なる医

師派遣なり、そうしたことを依頼しなければいけないだろうと思っている。

それ以外の診療科については、開業医の場合はどうしても人口減少が進んでいるし後継ぎの問題等色々あり、市の方が開業医さんにタッチするのは難しいのだが、市としては先ほど申し上げたような医療センターを中心としてしっかり連携を取って、医師充足ができるようこれからも取り組んでいきたい。

西田議長

他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

(9)について議員から質問は。澁谷議員。

澁谷議員

考え方をお尋ねしたい。浜田市の施設再配置計画がほとんど進展していない状況で、管理地面積がまた増えていくことが、本当にこれからの人口減少と税収が少なくなっていく自治体にとって本当に正しい選択なのか疑問なのだが、その点についてお尋ねする。

健康福祉部長

福祉部局で子育て支援センターの移転新築というのを出した。申し上げたように現在2万人くらい利用者のあるどうしても欠かせない施設であり、出来れば他施設と複合化して面積の効率化等もしなければいけないという観点で検討してきたが、それが難しかったので移転新築という選択をさせていただいた。議員がおっしゃっている件については、福祉が持っている施設がたくさんあるので、全体の中で統合なり廃止なり出来るものは、しっかり今後も検討していきたいと考えている。

澁谷議員

この場ではそのように言われるが、きちんと減った試しはない。それに貴方は今年で退職だ。非常に無責任だとは思わないかそういう発言が。その言葉に対する責任が、きちんとバトンタッチできるのか。既存施設を使ってみて、本当に不便である、やはり新しいものを作らなければならないという、きちんとしたチャレンジと検証があって初めて新しい物を作るようにしないと、浜田市は完全に破たんしてしまうのではないかな。全ての施設は必要である、しかしチャレンジの仕組みが非常に安易だと僕は思う。退職を前にした部長に最後のご意見を聞きたい。

健康福祉部長

先ほどそのように仰ったが、福祉部としては今年度中に施設の譲渡といったものをいくつか議会に出させていただいている。これは浜田自治区ではなくそれぞれの自治区にある施設であるが。行革特別委員会にもそうした方向で進めていることをお話している。先ほど申し上げたが、この建物自体は議員の皆ご存知のとおり古くなっており、木造で地震があつたりした時にはどうなったということもある。我々としてはもう5年くらい前から何とか早くきちんとした形にしたいということで検討してきているので、この件に関しては面積も同程度と考えているので何とかご理解いただきたい。

澁谷議員

耐震化とか安全性とか、子育て支援施設としてはそれらがきちんとクリアされなければならないので、新しい施設であることに越したことはないと思う。それが住民福祉の増進に近づくだらう。1つの理想形があったとして今が老朽化して、理想形に向かっていく段階として考えたことをもう少し具体的に、検証したけれど駄目だった理由を。もっと議会をモチベートしていただく努力はしていただかないと、我々のチェック機能は果たせない。

健康福祉部長

最後にご指摘があった点については私が説明の中で簡単に申し上げたが、色々内部協議をして検討したことについて、一体何を検討したのかその中身について、議員の皆さんへ説明が十分出来ていないと思っているので、その点は心がけたい。

西田議長

牛尾昭議員

他に。牛尾昭議員。

子育て支援センターへ時々孫を連れていって利用している1人として申し上げたい。確かに古くて新しいに越したことはないと思うが、随分丁寧に使ってあって、廊下等も年輪が重なっていて良い雰囲気。孫も喜んでいる。私はかねてから統合幼稚園は複合化が難しいと一言で言われた。所管が違うから複合化が難しいのか、複合化は難しいの一言だけで何故難しいのか説明をされていないから分からない。だから質問するのだが、今のままでもう少し辛抱しながらも、再配置もあるわけだし、幼稚園との複合化も含めて検討される方が最善ではないかと思う。その辺についてはどうなのか。

健康福祉部長

複合化については警察跡地を取得することになる方向が出た時に検討し4つくらい案を作った。その中には、統合幼稚園と、浜田公民館が狭隘なのでその部分を一緒に解決出来ないかということで検討した。ただ複合化した場合は想定以上に事業費がかかることが1点。それから複数の施設を一緒にした場合は駐車場が充分取れない。もう1つは、子育て支援センターと統合幼稚園、同じ子どもさんの施設ではあるが扱っている年代層が違うといったことから、例えば園庭や施設を上手く共用して各サービスを成り立つようにするのはかなりハードルが高いといったようなことがあり、複合化は断念した経緯がある。

牛尾昭議員

その理由は分かるが、先ほどから言われているような公共施設再配置の流れで公共施設全体の面積を減らすということであれば、素人考えで言えば何故複合化出来ないのかなと思う。例えば事業費が若干かかったとしても、複合化することでランニングコストは下がるし、例えば世界こども美術館があるから子育て関係施設として繋がると思う。それらトータルで10年20年サイクルで考えると、そこまで少し我慢してでも建てた方が良いんじゃないかと思う。意見はどの道一般質問なりでやるのでこれ以上言わないが、何だか部長が言われることがストンと落ちて来ない。

ついでながら言うと行政はエンドレスだから、部長がお辞めになっても言われた発言は次の部長が引き継ぐわけだから、次の方に同じことを言おうと思う。最近市長に申し上げたいのだが、説明は受けるのだが納得することは時々で、ない方が多いような気がして心配している。

西田議長

笹田議員

他に。笹田議員。

私もそれが聞きたかった。図書館を作る時も資料館を一緒にして複合化した方が良いんじゃないかということで、今やっておけば良かったという意見がすごくある。やはり今の意見を聞いていても、何が難しいのか何故複合化できないのか、全く理解ができない。松原地元のことなのでそこは結構行かせてもらっていた。結構土地があって跡地のことも考えながらその事業は進められているのか。

健康福祉部長

西田議長

現時点で跡地利用については白紙である。

続いて西村議員。

西村議員	複合化が何故困難なのかについては私も同じ。今の説明を受けてもそれで「はい分かりました」と理解しがたいと思ったし、また何らかの形で納得ができるような説明をお願いしたい。もう1つはそれに非常に密接に絡むのだが、委員会でも私要望したが、複合化になるかどうかは置いておいても、新施設を建てる場合は再配置計画も絡めて今後色々計画があるとは思いますが、現在ある施設なり土地をどのように使っていくのか、活用計画・利用計画・あるいはまちづくりという形で示すべきではないかという考え方を、委員会の時に要望した。それは若干触れられたのか。私は触れられてないと思うが。その点については要望したのにお答えがいただけなかったように受け止めたので、お答えいただきたい。
近重副市長	確かにまちづくりの観点からエリア分けみたいな所、全体のまちづくり計画が見えないから、行き当たりばったりなのではないかというご指摘だろうと思う。全体のまちづくりは今エリア分けをして色々考えている。ただ、課題というか例えば都市計画法にクリアしなければいけない部分があるとか、全体のエリアを出すと非常に難しい部分が出てくる。しかしご指摘の部分もあるので、例えば先ほどの海の見える文化ゾーンは子育てエリアで考えるとかのエリア分けは、これからきっちり示させていただこうと考えているので、ご理解いただきたい。
健康福祉部長	先ほどの、公開について検討したという説明について、適当な場が問題ではあるが検討させていただき、ご指摘に沿える対応をしたい。
西村議員	2点目はそれで良いと思うが、いずれにせよ予算等で上がってくることだと思う。私は個人的には、今の状況ではこの事業について善し悪しを判断するには材料が欠けていると思う。是非とも目に見える、あるいは耳に聞こえる形でしっかりした材料提供をお願いしておく。
西田議長 森谷議員	森谷議員。 大きな1番の利用者数2万700人と書いてあるが、子どもが1世代につき400人で、掛け算すると2000人から3000人だと思う。この約2万人は母親の数なのか、子どもの数なのか。1人の人が何度も行けば5回10回となるのか。
西田議長 健康福祉部長	森谷議員、ここに利用対象者と書いてはあるが。 延べかどうかについては、延べ計算である。含まれるのは子ども、引率者、ボランティア、検診利用者、休日保育、これらを全て足したものである。
森谷議員 健康福祉部長 森谷議員	私に未就学児が3人居た場合、1回連れていくとカウント4ということか。 はい。 納得した。図書館や歴史館は建てる前に、図書館の場合は特に何度も皆の意見を聞いたり、歴史館も今意見聴取している。子育てについては現役の方の意見を聞く必要がある。昨日もやっと歩けるような人みたいなのが意見を言って大賛成しておられたが、その人が利益を受けられないとは言わないが、実際にこれから行く人の意見が必要である。40歳以下しか発言できないような形で意見を聞くとか。意見を聞く場がないままに、決まったのではないと言いながらもあたかも決まったような形に見える。場所を動かすのが難しい、もうここに決めているのだということかもしれないが、本当にその場所か、複合化とか、0歳児5歳児を持っている母親たちがどういう便利不便を考えているかを、徹底的に聞く必

	要があるのではないか。利用しない人たちの意見ばかり聞いて進めるとその繰り返しになる。紺屋町、新町も、建て替えに反対した人がいて、今は生きているかどうか分からないようなまちになった。そういうことの繰り返しを避けるために実際の人の声を聞いて反映させるプロセスが必要だと思うが、踏まれているのか。
健康福祉部長	現状利用されている方については、普段から職員が応接しているから、例えば今の場所だと車でのアクセスが難しいといった意見はうかがっている。先ほど説明させていただいたように、老朽化しているのでサービスを継続する前提で新しい場所に移転新築したい。ただ、施設の中身については関係団体や有識者、もちろん利用者の方々も、ご意見を聞いて検討した上で進めたい。
森谷議員	図書館も利用者の声を聞いたのではなく、皆を集めた。歴史館も今利用している人の声を聞いてやっているわけではなく、行く人行かない人合わせて意見を聞いている。何故子育てだけが行く人に聞いているのか。でも母親から見れば反映されてないと思っているかもしれないし、皆の目に見える所でやるべきだと思うが。 もう1つは、そういう意見を聞いてまちづくりのトータルプランができて、そしてこういうものがどこにできる、あそこにあるということだと思う。今は複合だ単独だということが難しいと言いながらもトータルプランは今から作ると副市長が答えられた。順番が間違っていないか。トータルプランがあってどこに作るか、そのトータルプランは人の意見を聞いて作る、こういう順番ではないかと思うのだが。併せてお答えを。
近重副市長	トータルプランについてはまちづくりの大きなエリア分けは考えているが、クリアすべき点もあるので今の段階ではなかなか話ができないことを先ほど申し上げた。
森谷議員	図書館や歴史館等は利用する人たちだけの意見を聞かず、公に皆の意見をうかがった。これだけは利用している人から意見を聞いていると言われたが、私らはそういうのが公開されていないし全然耳にしていないのだが。ここだけクローズでやるのか。
健康福祉部長	そもそもこの施設は、確かに地域に開かれているという点は当然あるが、利用されるのは一定の層の方なので、先ほど申し上げたのは何かアンケートを取ったとかいうわけではないが、普段のサービス提供の中でご利用者の声は聞いているので、そうしたことを参考に進めている。
西田議長 牛尾博美議員	他に。牛尾博美議員。 この施設は松原幼稚園を人数が少ないということで廃園、その後に関わかに子育て支援センターを作るということで古い施設ではありながら、浜田市にそういう施設を設置しようということを決まった施設。先ほど移転に関して、浜田公民館とこれと一緒に警察跡地にとということもあったが、公民館と子育て支援センターをくっつけるのは、今困っているからくっつけるだけであって、もっと大所高所からの考え方、複合的にやっていく考え方、もう1つは子育て支援の本来の趣旨、子ども達に対してどういうケア、あるいは親に対してどういうサポートができるか、そうしたことがしっかりできて環境が良い所を考えながら、複合的なものを考えていく。あえて今、浜田公民館と子育て支援センターをくっつける必要はまったくくないと思う。やはり今困っている所をくっつければ、

どのみち困ることになるというのは、まさに目に見えている。施設としてあるいは組織として存続が問題になってくると思う。

私が思うのは、移転で山の上に作るのはいいかもかもしれないが、旧松原小学校の校庭の一部は非常に環境が良いと思うのだが。もしやるとすればここに何らかの手を加えて同じ場所でやるという発想はなかったのかおうかがいたい。

健康福祉部長

確かに住宅地の中で静かだしその点は分かるのだが、あそこで今、検診等をしていて、検診時には駐車場スペースが少なくて毎回職員が出て車の整理するといったことも実際に起きている。若いお母さん方が主に来られるが、あそこのアクセスがどうしても一方通行で道路も狭いという面もある。それと住宅のど真ん中にあるので、催し物をした時に車で入りが多くなって入口周辺の方から時々苦情もあるといったこともある。今のはアクセス等に関する話だが、そうしたことも考えて先ほど言った候補地を有力候補として考えている。

牛尾博美議員

それはよく分かる。ご存知のように松原は住宅地としては良いかもしれないが、高齢者も子ども達も遊ぶ場所がない。子育て支援センターが来ることによってあそこの園庭も松原や殿町の住民として、何とか高齢者がベンチを置いてそこでゆっくりくつろげるような、そしてその近くで子育てをしている子ども達が遊んでいる、あるいは子育て相談にくる親がそこで少しのんびりする、そういう想定をかつて17、18年前に描いていたが、あまりにも煩雑、放置になっている。園庭もそうだし古い建物も手を加えても仕方ないと思われるかもしれないが。もう全く手を入れられないような状態で、あそこを見てみると園庭の部分に瓦を砕いたものが一面に引いてある。駐車場なのか園庭なのか全く分からない状態でずっと使用されていた。全く手を加えない限りは自ずと大事にされない施設になってくると、私は常々あの辺を通る時に思っている。

山の上の福祉センターの所へ行くことについても、もうちょっと全体でしっかり、子ども達のために機能するのかどうか、福祉サイドだけで考えるだけでなく全体の施設運営、あるいは施設建設というものを併せて考えて、そうして結論を下したのかどうか。その辺が見えない。しっかりとその辺は我々が理解できるようにプロセスも話してもらいたいし、良い施設ができれば良いが、その過程があまりに見えないがためにそれぞれの意見が出てくるのではないかと思っている。意見があれば。

久保田市長

市全体のエリアの話や構想の話が見えないというお話だった。子育て支援センターを福祉センターの隣にという議論の際、今説明がなかった部分を私から補足させていただく。議員の皆さん仰るように、浜田市はそもそも土地面積が狭く、戦後ずっと見ても学校が移転したらその後何ができるという繰り返しで、色んな施設が出来ていた。そうした中で私が3年前に市長になった時にも、このエリアはこんなことにしたい、確か最初の市政方針か何かでそういう話も申し上げたかと思う。

子育て関連の部分で申し上げると、先ほど警察跡地に子育て支援センターと統合幼稚園ができないかというのは色々議論をした。実際に図面を描いてもらったり検討もしたが、先ほど健康福祉部長が申し上げたが、なかなか難しい問題があって、あそこでは統合幼稚園と子育て支援センターはどうも難しいということだった。かといって子育て支援センター

だけやるとなると、これもなかなかあの広い面積でという話もあった。そうした中で、むしろ県大傍のエリアを子育てゾーンにすべきではないかと。こども美術館もある、創作館にはたくさんの親子さんが通っておられる、あのあたりをむしろ子育てゾーンにすべきではないかという、今そんな議論をしている。従ってたまたま福祉センターとこども美術館の間の市有地に子育て支援センターを、面積も約600平方メートルで今とほぼ同じ、建物はスクラップアンドビルドするとほぼチャラになるくらい。それを今考えている。資料の3番目に（想定）とあるとおり、一応想定はしている。あの上を子育てゾーンにしたい。こども美術館とも創作館とも連携を取りながらやりたい。実は統合幼稚園についてもあのエリアで考えたいという気持ちを持っている。ただ公園法等色んな規制があり、残念ながらこの段階でこうだということは言えない。ただ有力候補地とすればあの辺りを教育子育てゾーンに出来ないだろうかということとは考えている。

複合化というのはおそらく前提には、公民館あるいは統合幼稚園との複合化ということがイメージされているのかなと思うが、統合幼稚園との複合化となると、そもそも統合幼稚園が作られるのだろうかという議論もあるので、その辺は我々ももう少し考えていきたい。

牛尾博美議員からあった、全体のまちづくりのイメージの中では、できれば教育子育てゾーンをあのエリアに考えたいなと思っている。

西田議長
佐々木議員

他に。佐々木議員。

私が気にしているのが、先ほど複合化が難しいという話で。今後複合化の再配置の予定というのはたくさんある。今後進めていくにあたり、こういった事例がある意味良くない前例を作ることになりはしないかなと危惧する。その辺はどうか。

総務部長

確かに公共施設再配置計画の中では、複合化という選択肢を持っているものがたくさんある。具体的に何と何を複合化するというを示されていない施設もたくさんある。議員がご心配されている部分もあるかと思う。今回の件が足かせにならない形で、仮に単独建て替えになるとしても、していかなければいけないのではと思っている。澁谷議員も再配置計画への色んな懸念のお話をされていた。再配置計画を進めるにあたって今進めている計画が、再配置計画の進行上、整合性が取れていない部分もあるが、今後の計画を進めていく上での支障にならない形で進めていかねばならない。私も3月で退職する身だが、担当職員にもしっかり伝えておきたい。

西田議長

他に。

（ 「なし」という声あり ）

西田議長

ここで暫時休憩する。5分間。再開を45分とする。

〔 11時 40分 休憩 〕

〔 11時 46分 再開 〕

西田議長
総務部長

会議を再開する。先に総務部長から答弁がある。

西村議員からご質問があった、意見交換の時に放映した映像の撮影時期等についてお答えしたい。

西田議長

旭町丸原については平成25年2月それから平成25年6月、平成26年3月、10月の5回の日にちのものを合わせて編集して放映した。その時の騒音測定レベルは81デシベルから高いもので103デシベルの状況。撮影者は浜田市職員。

邑南町の日和については平成28年11月1日に撮影されたもので、その時の騒音記録は86.7デシベルとなっている。撮影者は邑南町の職員。

江津市桜江町については29年1月19日に撮影したもので、騒音測定レベルは82.5デシベルと聞いている。撮影者は江津市職員。

よろしいか。

(「はい」という声あり)

(10) ふるさと寄附について

西田議長

この件について、産業経済部参事。

産業経済部参事

(以下、資料(10)をもとに説明)

西田議長

議員から質問は。

(「なし」という声あり)

西田議長

ないようなので、この件については終了する。

(11) 旧和田小学校校庭法面崩壊の対応について

西田議長

この件について、旭支所長。

旭支所長

(以下、資料(11)をもとに説明)

西田議長

議員から質問は。

(「なし」という声あり)

西田議長

ないようなので、この件については終了する。

(12) 市街地下水道整備計画について

西田議長

この件について、上下水道部長。

(以下、資料(12)をもとに説明)

西田議長

議員から質問は。森谷議員。

森谷議員

浜田市の状況、特に駅前が今までと大きく変わってきた。県営住宅が建つ、スーパーが建つ、飲食店が出来る、ホテルが出来る、病院が出来る。一気に大きな建物が建つ。このままの計画だとここがそれぞれ浄化槽を作らねばならない。大きいのは1000万円、2000万円かかるのではないかと思う。そうすると県営住宅についても県に話すと、コミュニティプラントを作ってくれるなら県も安上がり。中央商事に話したら、安上がりに越したことはないと言ってくれるのではないか。浜田市としても早くなる。

それからJ Aの土地を購入した所もある。あそこも浜田市がコントロールするということは商業施設になるということで。今下水道というようにやっておられるが、色んな物が建つ時に下水道が間に合わない可能性が強い。だから君市踏切の辺りにコミュニティプラントを作って、J TやJ Aの周辺は状況が変わったのだから見直したらどうか。そういう方針はあるのか。

上下水道部長

ご指摘の内容については以前も内部で検討した。その結果、駅周辺では難しいと。まちのあり方についてもご指摘いただいたが、周辺環境の

森谷議員

問題や、いろいろなご指摘があって、内部検討の結果が先ほど説明した、松原地域に処理場を作る結果に至った。従って今から再検討して駅前周辺に持っていくことは考えてない。

私の辞書では「難しい」というのは、やれる可能性があるから頑張ろうという意味なのだが。下水道の国の方針については、国は日本全国見渡して決めている。地方分権を推し進めている中で浜田市は浜田市の特殊性、つまり上り坂下り坂人口減少を考えると、単発の分に方向転換し、おまけに早く出来るのだからそこもあると思う。難しいといっても市長が決断すれば何とかなる話なので、その辺は多分なさる可能性があるのではと思う。人口が減っているからその汚泥は浄苑に持っていけないといけいないのも知っているが、浄苑が一杯一杯と言っても人口が減ると他の所からの汚泥が減るわけだから、それは何とかなると思うので考えてみて欲しい。

上下水道部長

人口減少を充分考慮した計画というのは、今後とも意識していきたいと思う。

西田議長
澁谷議員

澁谷議員。

昨年9月の常任委員会の時に浜田市合併浄化槽の接続率の希望的観測というのか、70パーセントいつも計算されるので。結果的に国府では50パーセントちょっとしかなくて、当初では赤字のはずではなかったのに毎年3億円ずつ持ち出しをしている現実がある以上、浜田市も公共下水道を作るからには、接続率50パーセントでも経営が成り立つように検討すべきではないかと、常任委員会で発言した。その時に担当部からは、公共下水道というのはまちにとっては最低なくてはならない物だという力強い発言があった。公共下水道がないようなまちはまちじゃないと、そこまで言われたように記憶している。だから私は担当部にそこまでの覚悟、ビジョンと哲学があるなら、一步譲ってみようかなと思ったのだけでも、12月になって急に5年間先送りだという意見が出て、あの9月の発言は一体何だったのかと。バイブルを開くと、始めに言葉ありきと。言葉があって人間の歴史が始まったということを考えると、えらく言葉が軽いなと私は思ったんだけど。それが今度は1月になってまた見直すと、訳が分からないなと。部長、あなたに哲学とビジョンがあるのかお尋ねしたい。

上下水道部長

最初に担当課長が強い気持ちで説明したことは、私もそのとおりだと思っている。ただ、財政の裏付けがないと国からの補助金が出せない状況はあくまで該当の自治体にあるということも指摘されており、そこは充分検討してきているわけだが、このたびの中期財政計画については下水道政策だけではなく色んな事業をどうするかという中で精査した結果の話であり、この中財は毎年ローリングされているものだから、今お示しした中期財政計画がそうであるからといって今後必ずしもそのとおりにはいかないことがある。担当部としては国の考えも踏まえて対処していきたいと思うので、引き続き内部で財政協議していきたい。

澁谷議員

大きな事業を執行部が発表されると、それに対応して議員も自分の知力を最大限に使ってイメージーションを発達させて検討を考える。考えて自分の言葉を選びながら意見を言っている。言葉が適切かどうかということはあるかもしれないが、自分なりには精一杯の知力を尽くして考

えて発言している。それがこうも毎月毎月変わるようだと朝令暮改、一番してはいけないことではないかと。きちんと提案するからには覚悟を持って提案してもらわないと、議会を舐めているのではないかなと言わざるを得ない状況である。執行部での庁議はどうなっているんだ、あなたの責任はどうなっているんだ、もう少し言葉の重みを考えて、こういう重要な政策を一貫性を持って提案していただきたい。答弁不要。

西田議長

他に。

(「なし」という声あり)

(1) 「(仮称) 浜田歴史資料館」構想について

西田議長

これについて、市長の思いをお願いします。

久保田市長

(以下、資料(1)をもとに説明)

西田議長

市長の思いを語っていただいた。この件についてはこれまで議会と色んな意見交換会を執行部でやっている。また今度3月定例会においても一般質問等で質問される議員もおられると思うので、あまりこの場では意見交換を設けたくないと思っている。どうしてもというのがあればお受けするが。森谷議員。

森谷議員

中期財政計画を見て気づいたのだが、今やらなければ金が云々という、そこが一番のポイントで、宇津市長の時は財政面等で出来なかったが今少し余裕が出てきたということだったと思う。昨日も指摘したのだが、インフラ整備の投資的経費というのがあるが、浜田市は合併前でも40億とか使っていた。今回33年以降、くつついたのがある。エコクリーンセンターを除けば20億円くらいずっといっている。そうすると現状から3分の1くらいになってしまって、公共工事が激減するようなことをやった上でのプラス1億円なので、その辺整合性を持って説明していただく必要があるのではないか。

近重副市長

昨日でもご答弁申し上げたが、確かに合併以後は合併当時に作ったまちづくり計画に沿って各自治区とも色んな事業を掲げていたので、投資的経費が40億円から60億円近くまで、そうした中で計画をして投資的経費を組んでいた。これから財政状況は……財政調整基金でももちろん相殺して赤字になる部分はないので、財政状況が大きく悪くなることはないし、10年後も財政調整基金は約40億円くらいを保てる計画を立てている。これから各部が投資的経費というのはサマーレビューの中で色んな形で出てくる可能性はあるが、現時点では20数億円という所で計画を立てさせていただいている。その中で出来るものをしっかりやっていくことになるかと思う。

西田議長

柳楽議員。

柳楽議員

今回の説明会が、前回の議員との意見交換会の時の紙に、市内数ヶ所であるとお聞きしていて、私もすぐに市民の方に「数ヶ所でされるとのことなので」とお伝えしていたが、結局市が主導されるのが昨日の会だけということで、あとは要望に応じて行って説明をされているようだが、各自治区で1箇所でも行われるということは考えられなかったのか、今後とも考えられないのかうかがう。

地域政策部長

今あったように各地区でということで申し上げた。これは基本的には地域協議会に各地区に出向くということで想定していたもの。ただ地域

	協議会に各地区出向いても、先般の議員の皆さまとの意見交換会にあったように、やはり市長の考えも直接聞いて色んな判断をする必要があるので、私ども事務方の説明よりも市長の声を聞きたいということを議会からのご指摘いただいたので、昨日の説明会も急遽日程変更したように、全部の地域協議会に市長が出向くのは難しかったので、合同会議というのを16日にやらせていただく。 ただ、色々な所で全てこちらから出向いてというのは難しいが、なるべくご説明させていただくということで。市長が出かけられない所へは我々事務方で説明等させていただく。出来る限りの努力させていただくが、現段階において全ての自治区でこういう説明会は考えていない。色んな公民館主催の集いとか、そういうのがあれば時間をいただければ出向きたいという思いを持っている。
柳楽議員	私も何人かの方から、是非自治区へ出向いて説明をいただきたいという声を聞いているので、是非検討していただきたい。
地域政策部長	個別にまたご相談させていただいて、対応したい。ケーブルテレビにて2月23日からの「扉をあけて」で説明させていただき、細かい質疑があれば我々が地域に出向いていく。また相談させていただきたい。
西田議長 道下議員	道下議員。 この事案は大きな事業だと思う。今は各地域各自治区に市長が出向き、丁寧な説明をやっていないと絶対いけないと私も思っている。その辺を何とか都合をつけて、各自治区へ出向いて説明することは絶対にすべきだと思う。
地域政策部長	必ずどこまで行くというお約束は出来ないが、なるべく市長の日程を調整しながらということで。今回周布地区にも公民館と連携して出向いたりさせていただき、出来る限りそういう努力はさせていただきたい。柳楽議員からのご指摘にあったように、しっかり市民へご説明させていただく。昨日も大変な雪の中、心配していたが150名くらいの方が来られて賛否色んな意見を言っていたし、市長から説明もさせていただいた。そういう努力はさせていただきたい。
西田議長 森谷議員	森谷議員。 扉を開けての内容だが、ホームページにアップされることをやってもらいたい。議会事務局が議会をアップしているように。そうしたら全員に不公平ない。ケーブルテレビは契約した人しか見られない。
地域政策部長 西田議長	はい検討させていただく。 他に。
西田議長	(「なし」という声あり) では以上で告事項を終了する。

(13) その他

(配布物)

- ・ 浜田市定住自立圏共生ビジョンの変更について（中間報告）
- ・ チラシ（仮称）浜田歴史資料館整備に係る基本方針（案）のパブリックコメントの実施について
- ・ 市税等コールセンター（電話催告業務）の夜間催告の実施について
- ・ 平成28年度「徴収業務研修会」の開催について

- ・臨時福祉給付金（経済対策分）について
- ・平成29年度医療保険制度（保険料関係）の改正概要について
- ・平成28年度浜田市消費生活相談室相談実績（12月末）
- ・企業立地優遇制度の一部改正について
- ・平成28年度 萩・石見空港利用実績【東京線】について
- ・地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）について
- ・漁業別水揚げについて
- ・浜田市緑の基本計画（案）のパブリックコメントの実施について
- ・平成28年度卒業（園）式及び平成29年度入学（園）式日程
- ・相生水源地跡地の県警への売却について

2 その他

西田議長	その他について、執行部からその他報告事項があれば。 （ 「ありません」という声あり ）
西田議長	では議員からその他で何かあれば。 （ 「なし」という声あり ）
西田議長	以上を持って全員協議会を閉じる。

〔 12 時 25 分 閉議 〕

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 西 田 清 久